

# 保険医年金

## 切せまる!

10月26日まで受付

# 石川保険医新聞

発行所  
 石川県保険医協会  
 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 尾張町レジデンス2F  
 電話 (0762) 22-5373番  
 発行人 後藤田博之  
 印刷所 ユーアイ印刷  
 (会費月額 3,800円)



歯科スタッフ講習会の下平久美子講師。  
 9月20日 石川県教育会館

石川県保険医協会では毎年、県下8会場で「応急処置」や「脳卒中後遺症のりハビリ」などをテーマに従業員対象の実技講習会を開催している。地方では従業員を対象にしたこの種の講習会は極端に少なく、毎年多数の参加者が訪れ好評を得ている。

今年「患者接遇の心得」をテーマに、高間静子先生(金沢大学医療短期大学部看護学科助教授)を講師に迎えて行われた。各会場とも申し込み者が定員を上回り、中には急拠会場変更したところもあり、8会場の参加者総数は過去最高の九百十八名を記録した。

## 医科

### 県下8会場で 定員上回る

入場券  
入場券

## 高間(医科)・下平(歯科)両講師 患者接遇をテーマに 一〇〇〇人超えるスタッフに熱弁

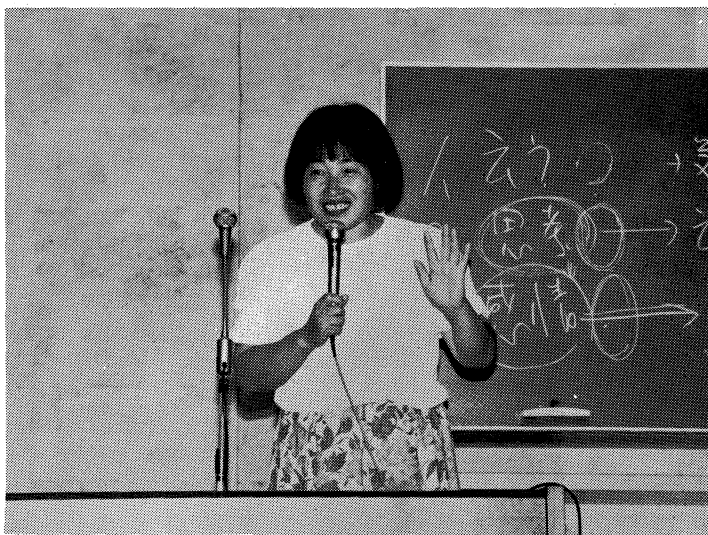
接遇マナーについての講習会は人気の高いテーマの一つであるが、今回は講師の高間先生の魅力が参加者を集めたものと分析する。

今年四月に「北陸看護学会」を自ら設立され、現在は癌患者のターミナルケアについての研究に取り組み、多くの看護婦からの支持を集めておられる。

企画の段階では「実技講習」としてふさわしいかとの意見もあったが、お話を拝聴させて頂くに、まさしく実技講習会そのものであると実感。豊富なご経験を科学的に分析した看護の方向論を高間先生独特のユー

モラスで説得力のある話し方で繰る二時間は、あっという間に過ぎてしまった。

「わたし自身、最初はたくさん患者さんを傷つけていた」という実例報告により参加者に大きな自信を与え、苦勞と喜びを共感し、意欲を奮い起こさせるといふ話し方は、九百十八名の参加者を集めて当然の魅力であると痛感した。



歯科スタッフ講習会の高間静子講師。  
 県下8会場で、過去最高の918名の参加。

## 歯科

### 感動のあまり 涙を流す参加者も

一方、デンタル・スタッフ講習会が九月二十日に石川県教育会館で行われた。講師は元日本航空スチュワーデスの下平久美子氏。さすがに全国の保険医協会からひっぱりだこになっている講師である。気品に満ちた人柄もさることながら、歯科医院の仕事の内容をしっかりと掌握されたうえで、

マナーの講習は芸術という過言ではない。完璧な教育方法である。元スチュワーデスが歯科のスタッフをどう教育するのかとの興味半分に参加したことを恥じて、講演終了後、下平氏に丁寧にお詫びした。

下平氏は接遇の基本とは、マイナスの心理状態の人をプラスの心理状態へ変化させることとして、五つのカテゴリー、すなわち「挨拶」「笑顔」「身嗜み」「言葉遣い」「態度」を挙げられ、それぞれのポイントを詳しく解説された。例えば言葉遣いでは、否定や命令を肯定や依頼の言い方に変えることが大切とし、「タバコは吸わないで下さい」ではなく「タバコはお控えいただけますか」とする、等々である。

最後に参加者八十二名のテグリー、すなわち「挨拶」「笑顔」「身嗜み」「言葉遣い」「態度」を挙げられ、それぞれのポイントを詳しく解説された。例えば言葉遣いでは、否定や命令を肯定や依頼の言い方に変えることが大切とし、「タバコは吸わないで下さい」ではなく「タバコはお控えいただけますか」とする、等々である。

要するに接遇マナーとは、歯科医院のそれと、スチュワーデスのそれとといった区別はそもそもないのである。下平氏が強調されたように、しっかりとしたマナーを身につけることは、単に職場での接客側とお客さんの関係のみならず、会社同僚や夫婦・家族などすべての人間関係を円滑にするための最良の手段であること、改めて思い知らされた二時間半であった。

(五・五年勤務)

## 医心凡語

彼岸も過ぎ、朝晩の冷え込みがめつきり強くなってあわてて長袖を取り出して着込んでいます。街角でも急に黒っぽい服装が目立つようになった。

昨日のテレビでも放映していたが、今年の流行色は黒だそうで、冷蔵庫、洗濯機などの家電製品から、家具、什器に至るまで黒色調に揃えるのがナウイのようです。

新聞報道でも何となく暗いニュースが続く。先日、近鉄トンネル火災で喘息患者が煙にまかれて死亡したが、その数日前、公害健康被害補償法改正案が成立したことが報じられている。

それまで同法は四日市、川崎など指定地域内の喘息患者らを大気汚染による被害者と認定し、煙を出す工場や、自動車税などの収入で、医療費、補償費を給付してきた。今回改正案では全国四十一カ所の指定地域をすべて解除し、新たな患者を認定しないという後退した内容になっている。

先に厚生省が発表した国民医療総合対策本部中間報告の内容といい、最近打ち出される施策には弱者切り捨て、福祉後退と言うような抑制策が根本にありと感ずるのは小生だけだろうか。

今年、黒地に白で書くクリスマスカードが売り出されると言う。そのうち黒い年賀状が届くかも知れぬ。

### 第12回隣接医学懇談会

## 臨床家に必要なB型肝炎の知識

—— 感染予防を中心として ——

# 小林先生を囲んで50名が懇談



講師の小林健一先生  
9月26日 金沢都ホテル

数カ月前、三重大学の医師二人のB型肝炎感染、劇症化による死亡、今一人、看護婦の重体化のマスコミ報道のこともあり、医師、歯科医師、スタッフ、そのほか約五十名が、早くから会場に足を運び、開演前から一種独特の熱気が満ちていた。講演によれば、三重大

の三人同時期発症という事象は、確率的には、百数十万分の一、歩道を歩いている車に跳ねられるほどのごく稀な事象であるとのことではあったが、このニュースは多くの医療関係者の強い関心を引き起こす引き金になったようだ。小林先生には昨年にも講演をたまわり、今度が二回目ということもあり、講演内容はやや高く設定された。以下、講演の一部を要約記載したい。

◆B型肝炎の感染に関して当然、すでにHBs抗体(+)の者は、中和抗体というジョーカーを有しているのだから全く安全(二〇%いる)で、問題になるのは、HBs抗原(+)でHBe抗原(+)の人。この人はほかへの感染能力が高く注意を要する。しかし、HBs抗体(+)でも、HBe抗体(+)なら感染性はゼロと考えて良い。日本における九五%の感染経路は母から子への垂直感染であり、予防においては、この部へ最大の努力が必要。キャリアの妊婦がe抗体(+)なら八割の子がキャリア化するし、e抗体(+)ならば、キャリア化はほぼゼロである。従って産科婦人科のワクチン投与は、e抗体(+)者では必須となる。

### 歯科スタッフ講習会

## 下平久美子氏の

### 講演テープを貸し出します

本号1面で報道されています  
9月20日に行われた歯科スタッフ講習会「日常のマナーと患者接遇の心得」の録音テープをお貸しします。

●お申し込みは協会事務局まで  
☎ (0762) 22-5373

## 持論

厚生省が六月一日付で「保健事業第二次五カ年計画」を各都道府県に通達した。その中で従来の一般健康診査が基本健康診査と名称が変わり、細部に渡って改正されている。

ここで大きく変わったのは眼底検査で、眼底カメラによりスライド用カラーフィルムを用い撮影は右眼の乳頭部位上、および下耳側動脈部位、黄斑乳頭部を両端におさめた部位の四枚を原則とするとなっている。

厚生省が六月一日付で「保健事業第二次五カ年計画」を各都道府県に通達した。その中で従来の一般健康診査が基本健康診査と名称が変わり、細部に渡って改正されている。

イドフィルム使用となっているので散瞳しなればならず、別に35ミリカメラが必要となり、新たな出費を余儀なくさせられる。採算については全く合算はせず、さらに緑内障の患者

に向うことを期待するものである。同じようなことが大腸がん検診についてもいえる。現在、大腸がん検診については対がん協会が試行的に、七尾市、松任市、

### 保健事業第二次五カ年計画

## 眼底・大腸検査を中心に

## 細部に渡って改正

については散瞳は禁忌であるためトノメーター(眼圧計)も必要となる。これについて厚生省と県医師会との話し合いで、どのように実施されるかが決定されると思われるが、良い方向

が条件となっている。病院は別として、大腸ファイバースコープを持っている医療機関は少なく、新しく大腸ファイバースコープを購入したとしても、眼底カメラと同様に大変な出費で、採算性にしても疑問である。

基本健康診査の眼底検査にしろ、大腸がん検診の精密検査にしろ遅かれ早かれやってくるのは必然であり、われわれがいかに対処すべきかが問われることになる。個人で駄目なら数人のグループで購入し、共同利用するとか、何らかの具体策を考えておく必要がある。また技術的なこととしては医師会あるいは保険医協会などが、その技術講習会を開いて対処すべきではないだろうか。

でも、抗体(+)化しないことがあり、この場合、事故の際、HB Ig投与(三カ月有効)しかない。また、抗体を獲得した者も、一年後に再検査を受け、(-)化していたら、再投与を受けること。これを継続する必要あり。

また、抗体(+)化しないことがあり、この場合、事故の際、HB Ig投与(三カ月有効)しかない。また、抗体を獲得した者も、一年後に再検査を受け、(-)化していたら、再投与を受けること。これを継続する必要あり。

静注用だから  
シャープに反応!  
鎮痛・解熱にすぐれた臨床効果

解熱・鎮痛・抗炎症剤  
ヴェノピリン®  
新タイプの非ステロイド・非ピリン系

ヴェノピリンはアスピリンの経口投与と比較して、作用発現が速く、優れた解熱・鎮痛・抗炎症効果を示します。また胃腸障害を回避し、かつ薬物依存性のない薬剤です。

●効能・効果  
術後疼痛、症候性神経痛、緊急に解熱を必要とする場合。

健保適用

三井物産株式会社 三井物産株式会社  
〒541 大阪市東区今橋1-15-1

保団連第一線医学・医療プロジェクト会議

糖尿病患者教育ビデオ制作  
ユニークなアイデア続出

理事 喜 多 徹



プロジェクトチームに石川の能登、喜多両理事も加わり、夜を徹して行われた。9月5・6日 山中温泉

保団連第一線医学・医療プロジェクト会議は、今回は石川県山中温泉「たわらや」にて、「患者教育用ビデオ」

当協会の理事会は毎月第一、第三火曜日に開かれることになって、第九回理事会は敬老の日（9月16日）に当たり、翌九月十六日（水）に開催された。司会

出せるのは、協会移転の候補地が御破算になってまた探さなければならなくなったことと女子パータイマーの補充がつき

理事会点描

盛りだくさんな活動

9月16日

勤務時間も延長出来るというところからいである。相変らず各部会より盛りだくさんの協議、報告事項があったが、いつも感

余裕のある毎日を送りたいと思うのは老化の前兆かも知れない。この原稿を書きながら診療機の上

八月三十日、福岡市のサンホテル博多で五十七名が参加して、全国研究担

「家庭復帰等検討委員会」設置で  
長期入院の復帰モデル始まる

保団連研究担当者会議

次に神奈川県協会の平尾先生とそのスタッフが進めている糖尿病教育ビデオへ話が進んだ。これはビデオオス

本は平尾先生側が担当し、ナレーション、BGM（背景画像）はプロが担当するもので、保団連のプロジェクトとして製作し協会会員に三〜六千円の破格の価格で配布されることが決まった。大変期待のもてるビデオ作品である。

検査された。自己評価基準を話し合っている協会は少なく、や「コ・メディカルのため

保団連『住宅環境調査』

NHKで紹介される



保団連がすすめている「住宅環境調査」の様子が9月8日のNHKテレビ「おはようジャーナル」で約50分にわたって放送されました。

当協会では、ビデオ録画（VHS）しておりますので、ご覧になりたい方は、協会事務局までお申し込み下さい。

Eコー講習会の日程変更のお知らせ

10月31日に予定されていた超音波実技講習会が、都合により左記の日程に変更になりました。

とき 11月4日(水) 午後7時半〜9時半  
ところ 金沢都ホテル5F 「能登の間」

※詳しくは案内チラシをご参照下さい。

泉研究部長が基調報告に立ち、国民医療総合対策本部

ち、国民医療総合対策本部の中間報告、医師の生涯教育、医療従事者のB型肝炎

各協会の研究会活動の交流では、大規模協会がコンスタントに各種研究会を開

饗庭忠男著

『医療事故の焦点・最近の判例理論の分析』を中心として『に学ぶ』

薬剤の能書と医師の責任

(要約) 大石博司

大阪地裁は昭和五十二年二月二十五日、血糖降下剤「ディアメリンS」の服用による低血糖で重篤な障害の発生した症例で、「医師に過失あり」とする判決を行なった。

この判決理由のなかで、能書の評価について次のように述べられている。

「昭和四十七年当時、製薬会社が作成し、医師に配っていたディアメリンSの能書(説明書)には同剤について、『副作用が極めて少なく安全で、一日一回の服用でよい』と、長期の治療に便利である旨の記載がある一方、低血糖症状について記載がなかったこと、昭和四十七年十一月の改訂によって、能書中に『低血糖をおこすおそれあり』、また、『稀に重篤、または遷延性の低血糖となることがある』旨の注意事項が加えられ、昭和五十年七月の改訂により注意事項の表現が『重篤かつ遷延性の低血糖症を起こすことがある』と改められたことが認められる。

しかし能書に使用上の注意事項として記載する事項は、厚生省の指導によって記載義務が生じた場合に記すことが多く、右能書

という評価を行っている。以上の判決の態度は要約するとつぎのごときものとなる。

(1) 能書の注意事項として記載されるのは厚生省の指導によってなされるだけであり、能書の記載以外でも医師が知りうる安全性に関する情報は存在していたし、また知るべきであった。

(2) 製薬メーカー作成の薬品に関する文獻書は、もっぱら宣伝目的で作られており、従って副作用より効能の面が重視されるという性格のものであるから、これと決定的ではない。

(3) 薬剤の副作用は治験段階の限定された症例数のなかでは、いまだその全貌を明らかにすることは決していえず、その段階における予見可能性よりは、むしろ販売され、販売量が増加するにつれて顕在化しなかった副作用があらわれてくるものである。従って、そのような症例の増加に伴って厚生省の指導を待つまでもなく、進んで製品の再検討、能書の改訂に取り組むことが結果発生の回避義務の問題となってくるわけである。

医師としても、能書の吟味はもちろんのこと、専門分野の新しい情報を取得し各時点における評価について十分な配慮をはらわなければならず、能書の記載のみを軽々に信頼したのみでは免責されないと考えるべきであろう。

本稿は「医療事故の焦点・最近の判例理論の分析」を中心として「饗庭忠男著」日本医事新報社出版局発行を、大石が要約した。

なかなかに、いまだその全貌を明らかにすることは決していえず、その段階における予見可能性よりは、むしろ販売され、販売量が増加するにつれて顕在化しなかった副作用があらわれてくるものである。従って、そのような症例の増加に伴って厚生省の指導を待つまでもなく、進んで製品の再検討、能書の改訂に取り組むことが結果発生の回避義務の問題となってくるわけである。

医師必読の一冊

『医療事故の焦点・最近の判例理論の分析』を中心として

一冊 三、四〇〇円

※協会へお申し込み下さい。

☎(〇七六二)二二一五三七三

解説 『税制改正』

シリーズ①

木村経営ブレイン 木村光雄 税理士

二カ月間、お休みをいただきましたが、今月号より国会にて審議され、おりました六十二年年度の税制改正が確定しましたので、その概要についてご説明したいと思います。

① 所得税等の改正

所得税率改正(六十二年十月から) 白色申告者の配偶者である事業専従者控除は、六〇万円(現行四



十五万円)に引き上げられる。 ③ みなし法人課税の強化(六十三年分分から) みなし法人課税を選択した場合の事業主報酬の額が、その年の前々年以前三年内の各年の事業所得及び不動産所得の金額の合計額の平均額の八〇%相当額を超える場合、その超える部分の金額には、過大報酬額に準ずるものとして所得税額を計算することになりました。これによって事業主報酬の額がかなり制限され、みなし法人課税を選択するメリット税を減らすメリット税を選択するメリット税がかなり失われると思われる。

④ 老年者控除の引き上げ(六十三年分から) 控除額は五〇万円(現行二十五万円)に引き上げられる。 ⑤ 公的年金控除創設(六十二年十月から) 法律に基づく社会保障制度を中心とする公的年金については、現行では給与所得控除の対象となっていない。今改正では、これらの控除を認めないこととし、その代わりに公的年金控除が創設された。(表2参照)

⑥ 医療費控除(六十三年分から) 医療費控除の足切り限度のうち、定額基準が一〇万円(現行五万円)に引き上げられる。

⑦ 住民税率の改正 ⑧ 税率の改正 ⑨ 各種控除額改正 (表3参照) ⑩ その他、給与所得者の特定支出控除の創設や配偶者特別控除創設等の改正が含まれておりますが、諸先生方には直接関係がありませんので、今回は割愛させていただきます。次回は、改正のもう一つの柱、利子課税等についてご説明したいと思います。

◆問合せは(〇七六二)九一三三三五(代)

表1 所得税率の新旧比較

Table with 4 columns: 現行 (適用所得, 税率), 改正案 (適用所得, 税率). Rows show brackets from 50万円以下 to 8,000万円超.

表2 公的年金控除額

Table with 2 columns: ① 定額控除 (80万円), ② 定率控除 (360万円まで). Includes a note about the total limit of 120万円.

表4 住民税の各種控除(単位:万円)

Table with 3 columns: 項目, 現行, 改正後. Rows include 基礎控除, 配偶者控除, 扶養控除, etc.

表3 住民税の税率

Table with 4 columns: 現行 (適用課税所得, 税率), 改正案 (昭和63年度, 昭和64年度). Rows show brackets from 150万円以下 to 300万円超.

〈市町村住民税〉

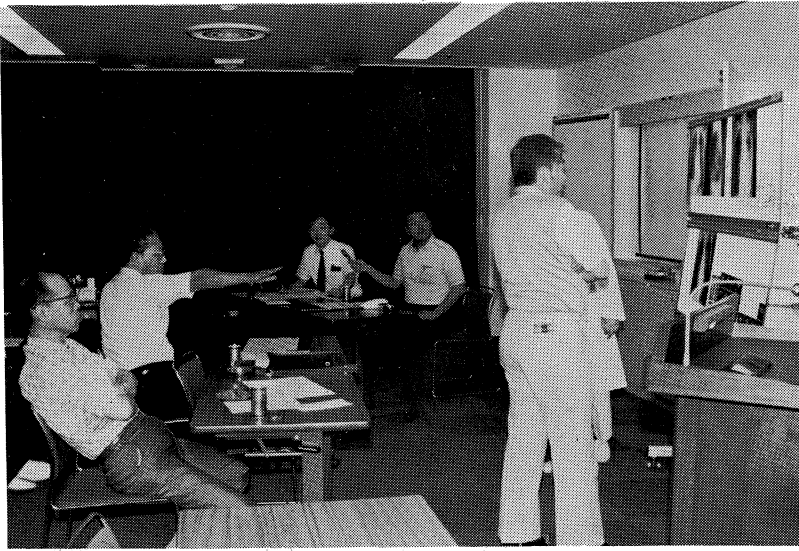
Table with 4 columns: 現行 (適用課税所得, 税率), 改正案 (昭和63年度, 昭和64年度). Rows show brackets from 20万円以下 to 4,900万円超.

病診連携に役立つ症例検討会

シリーズ3

国立金沢病院に多数参集

興味ある症例に有意義なCPC



活発な懇談で、時間も30分延長して行われた。

医師の生涯教育が叫ばれる中で、特に医学の最先端技術を実践している大病院での体験学習は非常に貴重な機会である。協会ではこれを目的として、このほど「これからの開業医シリーズ研究会」の第七回目として、「病診連携に役立つ症例検討会」の第三回目が、国立金沢病院・内科の先生方のご協力により九月十二日に開催された。この四月に新装したばかりの三階大会議室に国立病院側から内科部長、病理部部長を含めて五名の先生方が出席され、協会側からも多数の会員が参集して興味ある症例について熱心な討議が二時間半にわたって行われた。

協会らしい 意義ある企画

手取りクリニック院長 五嶋 亜男

九月十二日、午後七時より国立金沢病院三階の大会議室で保険医協会主催の症例検討会が開かれた。参加者は二十名くらいであったが、話題を提供された同病

心疾患(僧帽弁狭窄症と大動脈弁閉鎖不全症)を有し、慢性気管支炎および心筋細動を伴っていた。本年二月、上気道炎を契機に臥床状態となり入院した。入院時、心不全・貧血・全身浮腫状態であり、しばしば三十八℃を越える熱発を認めた。加療により、リハビリ可能となったが、座位をとると「体がえらい」と訴えることが多く、リハビリへの意欲も少なかった。第九十二病日、突然徐脈となり、下顎呼吸を呈して死亡した。剖検の結果、左肺静脈に大血栓が形成されており、左心房に嵌頓していた。

病院内入院した患者さんが、再びかかりつけの開業医に紹介される時、出来る限り詳細にその患者さんの情報を知らせることが大切である。そのためには病診連携が十分になされなければならない。患者さんのいのちを守るためにわれわれはお互いに努力し、症例検討会を積み重ねて行きましょう。最後に、今回のような企画をシリーズで主催している保険医協会の先生方やスタッフの皆さんに感謝と敬意を捧げます。

次回ご案内

協力病院 済生会石川総合病院

とき 11月7日(土)

午後七時から九時

ところ 済生会石川総合病院

2F会議室

《老人福祉施設見学会》

石川県基幹特別養護老人ホーム

八田ホームを見学

真の居住性を重視

各所にすぐれたセンス

九月十三日、さわやかな秋晴れの日曜日、河北潟近傍の広々とした田園の中に

ある八田ホームを見学させて頂いた。協会からは約二十名が参加し、まず施設長の越能喜平氏に、ホームの概要について説明を受け、その後、小一時間見学し、さらに質疑応答がくり広げられた。

ホームの第一印象は、とにかく明るくて清潔で広いということだった。全体が明るい落ち着いた色調で、廊下や開口部も広く、採光もトップライトやサンルーフ形式をとり入れてある。通常、こういう施設にありがちな不快な匂いの一掃には県知事もうるさく言われたそう、ウイングジェッタ

タールで室内の空気よどみをなくし、寝具は悪臭分解酵素の入った素材を用い、壁紙も脱臭性にしてあるとか、目に見えないところにセンスの良さが見られる。次いで感心したのは、やはり寝たきり老人や痴呆老人ばかりの収容ということ、老人の体の機能の衰えをカバーし、心理的傾向なども考慮し、しかも介護しやすい安全な設備の充実と、いうことだろう。このような配慮は、寮母室と廊下の位置関係、トイレや風呂の構造、中庭や外の生け垣の樹種の選定、廊下に設置された監視用モニターテレビなどにみられた。格好だけではなく真の居住性を重視した、シンプルだが、すみずみまで実に心の行き届いた施設だ。定員は八十名で、六十五歳以上の、家庭で介護しかねるが往診管理可能な程度の寝たきり、または痴呆老人なら入れる。県内の特別養護老人ホームなどの中心的・指導的施設として、福祉施設職員や在宅介護者の研修・相談も行なっている。県がこのような立派な施設をつくり、スタンダードを示してくれたということ、この類の老人は今までに比べると、ずっと人間らしい扱いを受けることができると思われる。しかし、ここへ入る時は、住み慣れた家庭を離れ、家族とは別れて、全く新しい環境の中で暮らさなければならぬわけで、老人たちに与えるその影響は無視できないものがあると考えられる。寝たきりや痴呆になる一歩手前まで食い止め、家族とともに楽しく暮らすことができよう努力すべきだと思われた。(舟木直茂)



最新の浴槽の説明を聞く参加者。

第三回審査対策研究会の

ご案内

テーマ 審査・監査の法的問題点

講師 九州合同法律事務所・弁護士 福岡医療問題研究会代表

池永 満 先生

とき 十一月十四日(土)

午後七時~九時

ところ 金沢都ホテル5階「能登の間」

申し込み 協会事務局まで (076-2) 221-5373

受診患者 社会資源利用チェック・リスト(65歳以上用) フックス

氏名	男女	M T	初診
住所	tel	保険	公費
身 体 状 況	・常時臥床 ・座位可能 ・介歩行 ・自立	・食事(全介助・半介助・自立) ・排泄(全介助・半介助・自立) ・入浴(全介助・半介助・自立) ・更衣(全介助・半介助・自立)	診断名 (発症)
<制度利用状況> 既に利用 <input type="checkbox"/> ・利用できそう <input type="checkbox"/>			民生委員 tel
◆各種手帳 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳(障) ( ) 級(障害名) 交付 S <input type="checkbox"/> その他( )			
◆医療費助成 <input type="checkbox"/> 障害者医療(老健法一部負担金助成) [老] <input type="checkbox"/> 特定疾患 [保]			
◆年金・手当 <input type="checkbox"/> 障害年金 [年] 障害基礎 ( ) 級・障害厚生 ( ) 級・障害手当金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 年金 <input type="checkbox"/> 特別障害者手当 [障] <input type="checkbox"/> その他の福祉手当 <input type="checkbox"/> 介護慰労金 [老]			
◆各種福祉サービス(日常生活援助) <input type="checkbox"/> ホームヘルパー [老] <input type="checkbox"/> 介護人派遣 [老] <input type="checkbox"/> 保健婦訪問 [保] <input type="checkbox"/> ショートステイ [老] <input type="checkbox"/> 入浴サービス [老] <input type="checkbox"/> 託老所利用 [老] <input type="checkbox"/> 補装具交付 [障] <input type="checkbox"/> 日常生活用具給付 [障老] <input type="checkbox"/> 紙おむつの支給 [老] ◆施設入所申請 [老] <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム ( ) 申請			



講師の鈴木森夫氏

今回は入門篇として「障害を持った患者さんが窓口を訪れたとき」というテーマで総論的な話をしましたが、その中で紹介した「社会資源利用チェックリスト」

老人医療無料制度の廃止を皮切りに、健保本人一割負担の導入をはじめ、様々な医療保障制度の見直しが進められていきま

## 「チェックリスト」を用い 社会資源の積極利用を

### 第三回医療福祉制度研修会

(試案)を実際に使って患者さんの制度利用状況を把握し、未活用社会資源を積極的に利用するよう働きかけてみてください。

わが国の医療福祉制度は、個々バラバラの成り立ちを持ち、種類も多く、窓口もまちまちで、さらに対象者の範囲にも細かな条件や規定があり、すべてを理解することは専門家でも困難だといえます。そこで、最小限「どこに問い合わせればよいか」をつかんでおき、わからない時はどしどし電話でも尋ねてみることを

### 第四回医療福祉制度研修会

とき 十一月二十七日  
午後七時～九時  
ところ 石川県教育会館 二階

### 第6回老後問題を考えるつどい

## “高齢化社会における家族と住まい” 多様化の中での連帯づくりが大切

9月23日 石川県社会教育会館

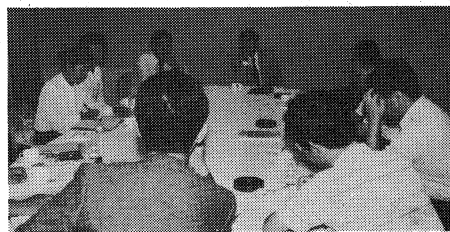


九月二十三日、第六回老後問題を考える石川のつどいが、石川県社会福祉会館で医療関係者、福祉関係者、大学教授、主婦、市民など九十八名が参加して開かれた。午前中、金沢大学教育学部教授(住居学)地井昭夫先生から「高齢化社会に

### 金沢赤十字病院と懇談

## 開業医はどこまでできる これからの訪問看護

9月18日 金沢国際ホテル



九月十八日、金沢国際ホテル会議室で、金沢赤十字病院との懇談会が行われた。これは、今後在宅でのケアがますます重要視される中で、開業医がこの問題とどう関わっていくのかを考

二時間の懇談のなかでは様々な問題点や課題が、つぎに話し合われたが、結論としては、厚生省の政策は入院患者の退院にばかり重点を置き、そのケアについては全くといってよいほど考えていないということである。入院患者を退院させることは大切なことであるが、病院から自宅に戻

おける家族と住まい」と題して特別講演が行われ、家族と住まいが多様化していきなから、いかに連帯を作っていくかについて、幼少期を含めた教育の面から、夫婦や親子の面から、寝室配分やライフサイクルの面から、また北陸の気候風土と家族意識からユーモアを交えての話がなされた。

### 協会も 第一分科会を 担当

午後分科会では、第一分科会を保険医協会が担当

たときに医師の指導通りに療養することはなかなか困難な現状であり、病院側のフォローは不可欠であるというのが赤十字病院の訪問看護の始まりである。しかし、訪問看護はこの病院でもすぐには始められるものではなく、回りの整備からはじめなくてはならない。したがって最初は月に四、五人からはじめ、現在やっ

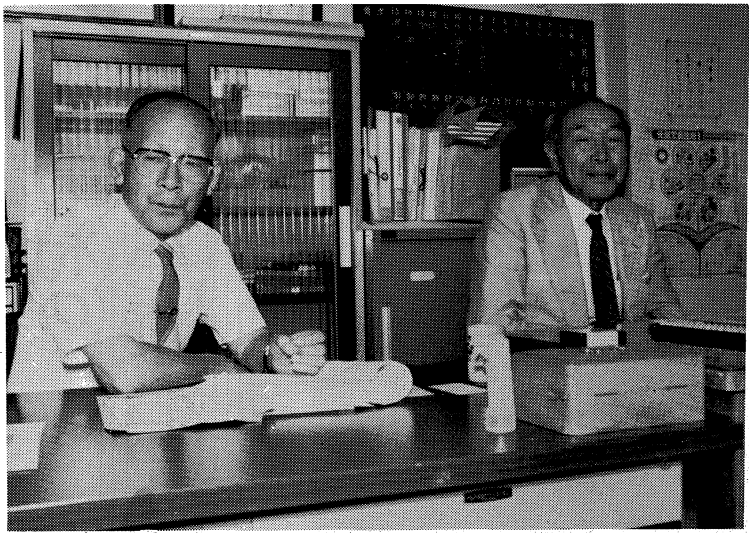
(大野幸治 記)

# 医療福祉をこころえよう

⑧

## 《観石川県脳卒中リハビリテーション推進協議会》

金沢市広坂1丁目7-1 石川県南分庁舎 TEL (0762) 31-3010



推進協議会の山崎利一さん(右)と同会事務局長の和田出四郎さん。

今回は昭和五十六年十月に県内各自治体、医療団体の協力を得て発足した「石川県脳卒中リハビリテーション推進協議会」をお訪ねした。応対していたのは同会会長の山崎利一さん、事務局長の和田出四郎さんです。

## 生きがいと 社会復帰を目的に

まず推進協議会の目的と構成についてお話をください。

石川県が昨年八月に実施した「老人の実態調査」では寝たきり老人六、六〇〇人であり、このうち約四五%の三、〇〇〇人余が脳血管障害が原因となっていて、リハビリテーションがとれない人は人間らしく生きる権利の回復—人間の権利—ということ。リハビリは一人

役割を果たしているのです。先程もいいましたが、県下四十一市町村のうち二十六カ所に友の会があり、「機能回復訓練」の際に積極的に参加し協力しています。リハビリ教室も理学療法士の指導を得て、県下で年十二回開いています。

## 友の会には リーダーの存在が不可欠

友の会の運営で特に心掛けておられることは。

リーダーの存在が友の会の活動を活発にするかどうかのカギとなっています。各地の友の会会長、副会長を対象に「相互ヘルプリーダー」の育成に力を入れています。今年度は県下三会場にて、リーダー養成講座を開くことにしています。

会目的は脳卒中後遺症に悩む患者に、①生きがいをもってもらふこと、②社会復帰をめざすことにあります。もともと脳卒中後遺症の患者は家の中に閉じこもりになることが特徴であり、これをどのように心を開かせていくのか、ここに私達の役割があると思っています。私(山崎会長)は毎朝散歩がてらに仲間へ「声かけ」をやっていきます。外に出たがらない患者にもう一步踏み込んで話しかけてあげることが大切だと思います。

各市町村では老人保健法に基づき、各種保健事業に取り組んでいます。この中で友の会はどのような

対象に言語療法技術研修会(年一回、五時間)を開いたり、市町村単位で失語症患者の調査をし、対象者を集めて講習会を開くこと

## Book いんぷあめいしよん

### 脱腸外科医のハットトリック

石川県立中央病院診療部長 浅野周二 著  
石川県立中央病院小児診療センター室長  
能登印刷出版部発行 1,200円  
B6版 216頁



書評

本書は、一九八九年十一月から翌年三月まで北陸中日新聞に連載されたエッセイの一部を一冊にまとめたものです。はじめに著者は、「マジメでもなく面白くもないけれども、何となく医者の世界を垣間見られる」と前置きして、い医療バタケだけの随筆だったら、最後までがまんして読んでくれるのは医者だけでしよう。ちなみに、新聞に連載

中の当時、一般読者の評判はなかなかのものでし、いくつかを抜すいしておきます。

タイトルの「ハットトリック」は、ちと難解ですが、全十五章のうち半分は、読者への医学知識サービスを兼ねて、ところが「ハット」であり、全文に首尾一貫している著者独自の、逆説的言いまわしの面白さが「トリック」なのであろうと解することできます。おおよそ、一人称で文章を書くというところは、あかの他人に裸を見せるような勇氣が在るのですが、著者は敢えてそれをして、医者仲間のミタテ(御極)となろうとしたフシもあります。白い目でみるのは、いささか筋違いです。ところで、この拙い書評だけみて、まだ本書を讀んでいない医療関係者以外の方が、それだけで済まず誤りをおかさぬた

「このようにいつも、患者を救うために、術者たちの間に起き得る切りあいの危険をおかして一心不乱に手術をしている。今後誰かが手術を受けるという噂を耳にしたならば、患者さんの無事を祈ると同時に、外科医の無事をも、ぜひとも祈ってもらいたい」

## リハビリ大会で 交流深まる

石川県では「寝たきりにならない運動」を提唱し

にしています。本年度は県の委託事業として失語症患者を対象とした講習会を県下十会場にて二十回開催することになっています。私達は三年前から毎年九月(今年は九月二十四、二十五日に開催)に「石川県脳卒中リハビリテーション大会」を開いており、県内の友の会の交流とともに、リハビリ大会の開催を通じて多くの県民にリハビリテーションの普及活動をすすめており、参加者は本年四〇〇人以上に達し、毎年楽しみにされています。(順)

保険医協会文化部員

## 栗野利雄《油絵》作品展

87年11月5日(木)~11月10日(火)

ラブロ片町5Fラブログギャラリー

(金沢市片町二一五 ☎二四一〇九四四)

後援:北国新聞社

《栗野利雄画歴》

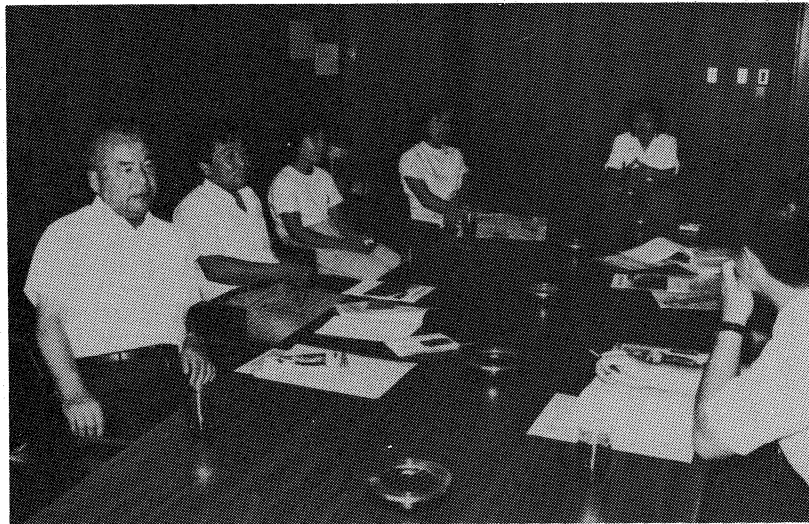
- 一九一四年・金沢市に生まる
- 一九七五年・アジア美術展初入選
- 以後一三回入選
- 一九八二年・二科展初入選
- 以後六回入選

わが町村の  
医療福祉を語る

第8回

《美しい海岸沿いの町》  
内浦町を訪ねて

(内浦町住民福祉課長に)  
インタビュー



内浦町民の健康管理に献身。  
左から坂井課長、小坂補佐、広瀬、大鷲、宮下さん。

今月は九十九湾、恋路海岸を中心に美しい海岸美を誇る農漁業の町、内浦町を紹介します。  
取材には内浦町住民福祉課の坂井次雄課長と小坂紀一郎補佐、および宮下和子看護婦と大鷲久仁子、広瀬佐知子両保健婦にお世話になりました。

自然公園大会に  
町の活性化を期待

内浦町は今、来年七月に大会が行われることにより皇族をお迎えして行われる町の活性化に大いに貢献するものとの期待が町全体に備に忙しい。この地でこの広まり始めている。現在、

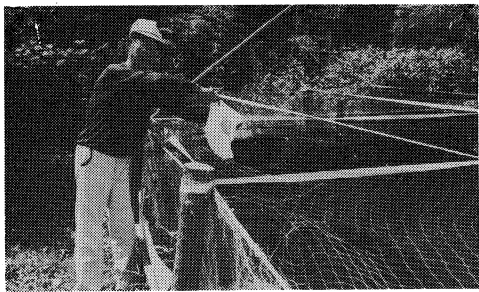
会場や道路などの整備が急ピッチで行われ、町内を花いっぱいにするべく着々と整備がすすめられている。この町の人口は現在一〇、二〇〇人余り。以前は漁業の町として大変にぎわっていたのであるが、その後、過疎化の波は例外なく押し寄せ、この対策は町の重要課題の一つになっている。昨年四月には役場内に町起こしのプロジェクト・チームをもうべき「ふるさと振興室」を設置し、若者の定着策や

産業の活性化策などに取り組んでいる。

坂井課長は今年四月に住民福祉課に着任。農林、総務など行政各セクションをほとんどこなしてきた大ベテランであるが、保健衛生の分野は始めてのこと。しかし行政の大局での動きは、すべて掌握しているため、多少のとまどいはあるにしても広い視野から、精力的にその手腕が発揮される。その坂井課長を緻密に援助するのが小坂課長補佐であり、大鷲、広瀬両保健婦と宮下看護婦のフィード・ワークとの連携が内浦町民の健康を管理しているという構図になっている。

町あげての取り組み  
ユニークなりハビリ事業

様々な保健活動の中でも特に注目されるのはハビリである。各市町村単位で組織される「リハビリ友



こいにエサを与えるリハビリ友の会会長新出栄作さん。



元中学校教員の友の会会員の演奏に合わせてリハビリ体操。左から3人目が広瀬保健婦。

の会（現在二十六カ所）のなかでも特にアクティブな活動が行われているという。脳卒中後遺症のリハビリが主体で、現在六十数名の会員が所属し、週三回、常に三十数名が参加して行われる。もちろん役場のバスの送迎付きである。見学させていただいたときは、音楽に合わせて身体を動かすリハビリ体操が始まっていた。円陣の中で音楽を演奏するのは、もと中学校の音楽教員で、もちろん友の会会員。広瀬保健婦の体操指導とともに実にユニークで、笑顔の絶えない楽しい光景であった。また、変わったものでは友の会会長の

新出氏が自ら行う鯉の飼育である。取材時、新出氏がちょうど鯉に餌をばらまいた瞬間、数百匹の鯉が、ばしゃばしゃ水面に現れたのには、いささか驚いた。こんなにたくさん鯉を大きく育てて、いったいどうするのか尋ねてみると、「国民宿舎こいじ荘のお客さんに名物料理として出す」と聞いて納得した。  
内浦町の保健事業はフィールド・ワークを中心としているため、日中はほとんど外に出て事務的なことは残業になることが多いという。実際には人手不足というところである。しかし他町村では地元保健婦さんがいないところが多く、その定着が悩みの種になっている中で、ここでは全員が地元出身のため、その点では恵まれているようだ。  
(保険医協会取材班)

過去最高  
**9.13%**  
の配当

安心の保険医年金

募集が切迫る10月26日まで  
年に一度の加入チャンス

◎お申し込み・お問い合わせは保険医協会まで！ ☎ (0762) 22-5373